



鶺鴒三小だより 1月号

令和8年1月27日

各務原市立鶺鴒沼第三小学校

1年間のしめくり（第Ⅳ期1月8日～3月26日）に向けて

いよいよ1年間の締めくりとなる第Ⅳ期がスタートしました。子どもたちは、今の学年を最後まできちんと終え、次の学年につなげていこうというスタートが切れたと思います。1月8日の第Ⅳ期スタートの会では、今期がんばることを4つ話しました。その内容は、①授業に集中し、自分の考えをしっかりと話せる子になること（つなぎ発言の取組を中心に）②美しい言葉づかいをすること③友達や周りの人を大切にすること④友達のよいところを見つけることです。この①～④のことは、本校が4月から大切にしてきたことです。今期もお昼の放送を使って認め励ましながら一人一人が充実感を味わい、自信をもって次の学年に進めるよう職員一同努めていきたいと思っています。

集中して書き上げた「書初め会」1月9日、13日

1月9日は5、6年生、13日は3、4年生が体育館で書初めを行いました。1、2年生は、教室で硬筆に取り組みました。どの子も自分の納得できる文字が書けるように一生懸命取り組みました。お手本を見ながら、文字の止め、はらい、構成などに気を付けて書くことは、文字を正しく整えて書く力を高めることにつながります。子どもたちが書いた「書初め」は、廊下に掲示してありますので、ご覧ください。



市長さんと味わった「御膳糰^{ごぜんもみ}」ごはん 1月23日

御膳糰とは、江戸時代、徳川将軍をはじめとする大奥の人々が食するために献上されたお米のことで、幕府直轄領であった各務原市域でも生産されていました。令和5年にJAぎふや生産者など関係各所の協力により当時の史料を参考にして栽培された特別栽培米（ハツシモ）です。市では、ふるさと教育や学校教育における地場産物活用の取組の一環として、すべての小中学校において、献立に「御膳糰」を使用した学校給食を実施しています。

1月23日、各務原市で生産された「御膳糰」ごはんを市長さんと一緒に食べる機会がありました。各学級の希望者の中から1名、合計20名が和室（わくわくるうむ）で食べました。子どもたちから市長さんに「どんな食べ物が好きですか。」「今、どんな建物を建てていますか。」「市長さんになるために大切なことはなんですか。」などの質問をし、市長さんからの答えに驚きや共感を示していました。

各教室で「御膳糰」ごはんを食べた子どもたちからも「甘くておいしい」「もちもちしてておいしい」と好評で、ほとんどの子が残さず食べていました。

